

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学の役割についての普及・啓発			担当部局庁	日本学術会議	作成責任者			
事業開始年度	昭和61年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課	後藤 一也 課長			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	日本学術会議法第2条			関係する計画、通知等					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本学術会議法第2条に基づき、我が国の科学者の内外に対する代表機関(全国約87万人の科学者の代表として選出された会員210名と連携会員約2,000名で構成)として、学術フォーラムを通じ、科学の役割について国民の認識を高めることで科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させる。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	科学的・学術的な成果を国民に還元するための活動として、学術フォーラムを開催している。学術フォーラムは、日本学術会議会員等が講演、パネルディスカッション等を行い、科学の成果を国民に分かりやすく伝えるとともに、国民と双方向のやり取りがなされるよう構成した公開講演会である。 また、科学の役割についての普及・啓発等のために図書館を設けているが、この図書館は、国立国会図書館法の規定により国立国会図書館の支部図書館として指定されており、各所属機関の特色に応じた資料を所蔵する専門的な図書館となることを求められているため、関連書籍の収集を行っている。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	4.2	3.9	5.8	5.6	6.6		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		4.2	3.9	5.8	5.6	6.6		
	執行額		3.1	3.3	6.1				
	執行率(%)		74%	85%	105%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		74%	85%	105%				
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	庁費	2.1	2.3	「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」(令和3年4月22日日本学術会議総会決定)を踏まえた会員手当・謝金等の増額要求及び庁費の単価変更					
	国会図書館支部庁費	1.9	1.9						
	委員等旅費	0.6	0.6						
	会員手当	0.5	0.7						
	諸謝金	0.4	0.5						
	その他	0.1	0.6						
	計	5.6	6.6						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
	令和3年度に目標値230名を達成する。	学術フォーラムの参加者数(1回当たり平均値)	成果実績	名	157	136	408	-	-
			目標値	名	150	150	150	-	230
			達成度	%	104	91	272	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	各回の学術フォーラムのオンライン参加者数(令和2年度はオンラインまたは会場とオンライン併用で開催)(目標値は過去数年の実績から決定)								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	日本学術会議主催学術フォーラム等の開催回数	活動実績	回	6	11	11	-	-	
		当初見込み	回	8	8	10	10	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	各年度執行額(フォーラム分)/実施回数	単位当たりコスト	-	214	130	369	398		
計算式		執行額/実施回数		1,281(千円)/6(回)	1,441(千円)/11(回)	4,064(千円)/11(回)	3,975(千円)/10(回)		

政策評価

政策	科学に関する重要事項の審議及び研究の連絡								
	施策								
測定指標	定量的指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 3年度
	学術フォーラムの参加者アンケートで肯定的に評価した者の割合(平均値)		実績値	%	90	91	93	-	-
			目標値	%	85	85	85	-	85
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
				-					
				施策の進捗状況(実績)					
			-						
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
日本学術会議会員等による講演・パネルディスカッションを内容とする学術フォーラムを開催することにより、学術成果の国民への還元を図っている。									
政策	科学に関する重要事項の審議及び研究の連絡								
	施策								
測定指標	定量的指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
				施策の進捗状況(実績)					

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善		
項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	○	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。
	○	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。
	○	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。
事業の効率性	○	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。
	無	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。
	無	競争性のない随意契約となったものはないか。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。
	○	単位当たりコスト等の水準は妥当か。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。
	-	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)
事業の有効性	○	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。
	○	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。
関連事業	-	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)
		所管府省名
		事業番号
		事業名

点検・改善結果	点検結果	令和2年度は、「人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス」、「新型コロナウイルス感染症コントロールに向けての学術の取り組み」、「東日本大震災からの十年とこれから～58学会、防災学術連携体の活動～」、「危機の時代におけるアカデミーと未来」等計11回の学術フォーラムを開催した。国民の関心の高い事項について、日本学術会議会員等による講演・パネルディスカッションを内容とする学術フォーラムを開催することにより、学術成果の国民への還元に資することができた。また、日本学術会議主催で行われる学術フォーラムの出演者に対する手当、謝金及び旅費について関係法令に基づき各個人に適切に支給している。
	改善の方向性	今後も国民の関心の高い事項について科学の成果をわかりやすく伝えることを念頭に幅広くテーマ選定を行うとともに、学術フォーラムにおける議論の成果を日本学術会議の活動に反映させ、更にその結果を国民に伝えるというような、国民との双方向のやり取りがなされるよう、配慮していく。出演者に対する手当、謝金及び旅費についても関係法令に基づき各個人への適切な処理に努める。

外部有識者の所見

学術フォーラムが、科学の役割について国民一般の認識を高めるものであるとするならば、アウトカムの「学術フォーラムの参加者数」は、「全国87万人の科学者」以外の参加者数を掲げるべきものと思う。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	有識者の所見を踏まえ、引き続き経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。
------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」(令和3年4月22日日本学術会議総会決定)において、「国民に分かりやすく科学の成果を伝えるだけでなく、国民の思いやニーズ・関心を把握するため、双方向のコミュニケーションの充実を図る」ことが明記されている。学術フォーラムは国民の関心の高い問題を中心にテーマが設定され「全国87万人の科学者」が異なる専攻分野の学術フォーラムに一人の国民として参加し直接的かつ双方向の対話により科学の向上発達に寄与することも想定し実施。その上で広く国民に周知し、経費の使途等をしっかりと確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努める。
------	--

備考

定量的な成果目標の最終目標年度欄について、最終年度ではないが便宜的に直近の2年度を記載
(参考)学術フォーラム開催報告掲載サイト <http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0159		
平成23年度	0166		
平成24年度	0160		
平成25年度	0114		
平成26年度	0111		
平成27年度	0120		
平成28年度	0116		
平成29年度	0120		
平成30年度	0126		
令和元年度	内閣府 - 0135		
令和2年度	内閣府 - 0136		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

日本学術会議事務局企画課、
 参事官(審議第2担当)
 6.1百万円

※四捨五入の関係で費目合計と一致しない

(学術の成果を国民に還元するための
 公開講演会の開催に必要な経費等)

→ 請負【随意契約(少額)】



(学術フォーラムのインターネット
 配信経費等)

(国立国会図書館支部図書館
 の資料購入経費等)

(会員・連携会員等の旅費・手
 当等)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ステージ	1013301036693	学術フォーラムのインター ネット配信業務(11月25日 開催)	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
2	(株)ステージ	1013301036693	学術フォーラムのインター ネット配信業務(11月11日 開催)	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
3	(株)ステージ	1013301036693	学術フォーラムのインター ネット配信業務(2月27日開 催)	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
4	(株)ステージ	1013301036693	学術フォーラムのインター ネット翻訳等業務(2月15日 開催)	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
5	(株)ステージ	1013301036693	学術フォーラムのインター ネット翻訳等業務(2月16日 開催)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
6	(株)イベントアンドコ ンベンションハウス	6010001011007	学術フォーラムのインター ネット配信業務	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
7	(株)ガイアックス	1010701022159	学術フォーラムのインター ネット配信業務	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
8	株式会社サン・フレ ア	7011101024574	学術フォーラムのビデオ メッセージ翻訳等業務	0.2	随意契約 (少額)	-	-	
9	東京反訳株式会社	1013301023163	学術フォーラムのテープ翻 訳等業務	0.1	随意契約 (少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)三省堂書店	7010001016830	定期刊行物	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
2	(株)OCS	5010401006994	定期刊行物	0.6	随意契約 (少額)	-	-	
3	(株)ぎょうせい	1010001100425	定期刊行物	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
4	(財)日本学術協力 財団	6010405000927	定期刊行物	0.1	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
2	個人B	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
3	個人C	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
4	個人D	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
5	個人E	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
6	個人F	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
7	個人G	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
8	個人H	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
9	個人I	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	
10	個人J	-	会議出席旅費・手当	0	その他	-	-	